

# 平成30年度第2回 熊谷市地域公共交通会議 会議録

平成31年2月12日（火）

午後1時30分～午後3時

熊谷市役所6階 603会議室

## 1 開 会

## 2 会長あいさつ

## 3 新委員紹介

- ・立正大学地球環境科学部地理学科 専任講師 山田 淳一 氏

## 4 議 題

### (1) ゆうゆうバスのルート・時刻の見直し後の経過について

- ・別添資料に従い説明。
  - ・新たに運行している。さくら号路線については、遅延が目立つ。
  - ・おおむね順調に推移。新規導入のグライダーワゴンについて、籠原駅～妻沼行政センター間は乗車数が多い。循環路線は常連の方が中心。車いす利用もある。
- 委員の了解を得て、課題については次回、時刻見直しの際に検討することとした。

### (2) 新規路線の試験運行について

- ・別添資料に従い説明。
  - ・試験運行の、
    - ① 交通空白地域の設定はどのようなか。
    - ② 運行時間帯の設定は。休館日はどうするのか。
    - ③ 3か月は短いのでは。
    - ④ スケジュールは。
- ① ハートフルミーティングや直接の要望などにより把握しており、そうした地域を中心にルート設定したところ。
- ② くまびあの開館時間を考慮した時間帯を考えている。休館日にも近隣住民の利用が考えられるので、運行する方向で調整する。
  - ③ 費用対効果を考えて決定したところ。
  - ④ 平成31年度に試験運行とその検証を行い、その結果により翌年度の本格運行を目指す。

→委員了解。

### (3) ゆうゆうバスのルート・バス停変更について

- ・別添資料に従い説明。

→委員了解。

(4) ほたる号の事業評価について

- ・別添資料に従い説明。

→委員了解。

## 5 その他

(1) ユニバーサルデザインタクシー補助事業について

- ・別添資料に従い説明。

・ユニバーサルデザインタクシー補助事業については、県内でも先進的で、ラグビーワールドカップに向けて大変にありがたいことと思っている。また、新聞報道でもあった通り、ジャパントクシーについては改良が進んでおり、既に購入した車両についてもメーカーにおいて改造してもらえると聞いている。

(2) 埼玉県地域公共交通インバウンド利用促進事業について

- ・秩父鉄道 における

熊谷駅、行田市駅の券売機の多言語化

W I - F I 整備、タブレット導入、QRコードの実証実験

ラッピング車両

等の取り組みについて説明。

- ・朝日自動車における

運賃表示機の液晶化、多言語化、聖天山をかたどった聖天前バス停の整備、バスの行先表示のナンバリング

等の取り組みについて説明。

(3) 駅ホーム声かけサポート講習会の実施報告について

- ・別添資料に従い説明。

(4) その他

- ・熊谷駅正面口の混雑について、平時から二重駐車など、混雑が常態化している。

・新規導入のグライダーワゴンについて、農村地帯を走っているときには何ともさみしい。音楽を流すなどしてはどうか。

・他市での例はあり、技術的には可能だが、かなり静かな曲を選び、音量を絞って運用したものの、うるさいとのクレームがあり、なかなか難しいと考えている。

→ 今後検討することとした。

## 6 閉 会